

## 薬剤耐性（AMR）と抗菌薬適正使用

近年、薬剤耐性（Antimicrobial Resistance; AMR）は国際的な公衆衛生上の課題として認識されている。2015 年の WHO 総会で AMR に関するグローバルアクションプランが採択され、2 年以内に全ての国が行動計画を策定することが決議された。これを受け、2016 年 4 月に日本のアクションプランが策定された。アクションプランでは①普及啓発・教育、②動向調査・監視、③感染予防・管理、④抗微生物剤の適正使用、⑤研究開発・創薬、⑥国際分野の 6 分野で目標が設定された。この内、抗微生物剤の適正使用については、医療機関の役割が重要と考えられる。

今回の抄読会では、日本の AMR の現状と取り組みを紹介し、検討中の研究テーマについて報告したいと考えている。

### 【参考文献】

- World Health Organization. Global action plan on antimicrobial resistance. 2015;1-28.
- 国際的に脅威となる感染症対策関係閣僚会議. 薬剤耐性(AMR)対策アクションプラン 2016-2020. 2016;1-71.